

# 昭和時代（戦前）プリン ト

名前

- 問1 日本への入国者数の統計において、1920年代半ばに高い水準にあった中国からの入国者数は、1930年頃を境に急激に減少しています。この背景にある、1929年にアメリカ合衆国で始まった世界規模の経済混乱を何と呼びますか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 世界恐慌
  2. 産業革命
  3. ニューディール政策
  4. ブロック経済
- 問2 1945年8月に起きた出来事をまとめた年表において、8月6日に世界で初めて原子爆弾が投下された都市の記述があります。この出来事に関連して、被爆の惨禍を象徴する建造物として後にユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されたものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 原爆ドーム
  2. 平和祈念像
  3. 厳島神社
  4. 広島城
- 問3 満州事変に関して、リットン調査団の報告に基づき、国際連盟が満州国を承認せず日本軍の撤兵を求める勧告を採択したことに対し、日本政府はどのような対応をとりましたか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. ワシントン会議での決定に従い、海軍の軍縮を行った
  2. 国際連盟の勧告を受け入れ、満州国を解体した
  3. 国際連盟からの脱退を通告し、国際的な孤立を深めた
  4. シベリア出兵を行い、列国との協調を図った
- 問4 第一次世界大戦後の国際秩序形成において、日本が参加した国際会議や締結した条約の推移について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、日本は1933年に国際連盟を脱退しています。 (2022年 岐阜公立入試 類似)
1. ワシントン会議に参加し、太平洋地域の現状維持を定めた四力国条約を締結したが、第二次世界大戦末期のヤルタ会談には参加していない。
  2. ワシントン会議には参加せず、独自の外交路線を歩んだため、のちに国際連盟から脱退する原因となった。
  3. 国際連盟脱退後、すぐにヤルタ会談に参加して連合国側との協力体制を築き、国際社会への復帰を試みた。
  4. 四力国条約には調印したが、ワシントン会議において海軍の軍備制限を拒否したため、国際連盟からの脱退を余儀なくされた。
- 問5 1939年9月にドイツがある国へ軍事侵攻したことを受けて、それまでドイツに対して宥和的な態度をとっていたイギリスとフランスが宣戦布告を行いました。これにより第二次世界大戦が幕を開けることとなりましたが、このときドイツが侵攻した国はどこですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. ポーランド
  2. オーストリア
  3. チェコスロバキア
  4. ソビエト連邦
- 問6 1930年代の国際情勢において、イギリスなどが進めたブロック経済が、世界情勢に与えた影響についての説明として最も適切なものはどれか、選びなさい。 (2020年 山口公立入試 類似)
1. 植民地を多く持たないドイツやイタリア、日本などが経済的に窮地に立たされ、武力による対外進出を強める原因となった。
  2. 世界全体で自由貿易が促進された結果、国際連盟を中心とする平和な国際秩序が確立された。
  3. ソ連がこの経済圏に加わったことで、資本主義諸国と社会主義諸国間の経済格差が解消された。
  4. アジアやアフリカの植民地で工業化が急速に進み、本国に依存しない自立的な経済発展が達成された。
- 問7 日本の国家予算における軍事費が急激に増大していた1930年代後半の状況において、1937年に発生した盧溝橋事件について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島公立入試 類似)
1. 北京郊外での軍事衝突を機に、宣戦布告のないまま全面的な日中戦争へと発展した。
  2. 南満州鉄道の線路が爆破されたことを中国軍の仕業とし、満州事変を引き起こした。
  3. 第一次世界大戦の最中に、中国での権益を強めるため二十一か条の要求を突きつけた。
  4. ロシアの南下政策に対抗するため、朝鮮半島と満州の権益をめぐって開戦した。
- 問8 20世紀前半の芸術は、激動する社会情勢と深く結びついていました。スペイン内戦において、ドイツ軍による都市への無差別爆撃が行われた際、その惨状を世界に向けて告発し、強い反戦のメッセージを込めて巨大な絵画「ゲルニカ」を制作したスペイン出身の画家は誰ですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. パブロ・ピカソ
  2. ミケランジェロ
  3. アーネスト・フェノロサ
  4. レオナルド・ダ・ヴィンチ
- 問9 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約に基づき、日本がロシアから譲り受けた長春以南の鉄道利権や炭鉱などを管理・経営するために設立された会社を何といますか。 (2025年 群馬公立入試 類似)
1. 南満州鉄道株式会社
  2. 東洋拓殖株式会社
  3. 八幡製鉄所
  4. 日本郵船株式会社
- 問10 昭和初期の日本では、軍部による支配が進む一方で、国民の思想や運動に対する国家の統制も強まりました。1925年に制定され、当初は社会主義運動の取り締まりを目的としていましたが、次第に政府に批判的な言論や自由主義的な運動を弾圧する手段として利用された法律を選びなさい。 (2019年 鳥取公立入試 類似)
1. 治安維持法
  2. 国家総動員法
  3. 大日本帝国憲法
  4. 教育勅語
- 問11 1930年代から1940年代前半にかけての日本の動向について、歴史的な出来事が起きた順序として正しいものはどれですか。 (2020年 佐賀公立入試 類似)
1. 国際連盟の脱退を宣言する → 北京郊外の盧溝橋で日中両軍が衝突する → ハワイの真珠湾を攻撃する
  2. 北京郊外の盧溝橋で日中両軍が衝突する → 国際連盟の脱退を宣言する → ハワイの真珠湾を攻撃する
  3. 国際連盟の脱退を宣言する → ハワイの真珠湾を攻撃する → 北京郊外の盧溝橋で日中両軍が衝突する
  4. ハワイの真珠湾を攻撃する → 北京郊外の盧溝橋で日中両軍が衝突する → 国際連盟の脱退を宣言する
- 問12 日中戦争が開始された経緯について、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 歴史公立入試 類似)
1. 北京郊外で日本軍と中国軍が衝突したことを機に、日本は中国との全面的な戦争へと突き進んだ。
  2. 満州での鉄道爆破事件を受けて、日本は国際連盟の調停のもとで中国との戦争を開始した。
  3. 北京近郊での武力衝突後、日本はただちに中国軍と和解し、戦争の拡大を未然に防いだ。
  4. 第一次世界大戦中に発生した北京付近での事件をきっかけに、日本軍は中国全土を占領した。
- 問13 1940年に大政翼賛会が結成された背景と、その性質についての記述として最も適切なものを選びなさい。 (2014年 愛媛公立入試 類似)
1. 日独伊三国同盟の締結に合わせ、強力なリーダーシップで戦争を遂行するための挙国一致体制を目指して結成された。
  2. 大正デモクラシーの流れを受け、複数の政党が協力して政党政治を安定させるために結成された。
  3. 明治維新の際に、欧米列強に対抗できる近代的な議会制度を確立させるために結成された。
  4. 太平洋戦争の終結後、日本を民主化するために連合国軍（GHQ）の主導で結成された。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 世界恐慌	1929年にニューヨークの株式市場で株価が暴落したことをきっかけに始まった世界恐慌は、世界中の経済に深刻な打撃を与えました。これにより貿易が停滞し、各国で失業者が増大したため、日本への入国者数も大幅に減少することとなりました。こうした経済の混乱は、その後の国際情勢の緊迫化や戦争へとつながる要因の一つとなりました。
問2	答え 1 原爆ドーム	広島市にある原爆ドームは、もともと広島県産業奨励館という建物でしたが、爆心地の至近距離で被爆しながらも奇跡的に倒壊を免れました。核兵器の悲惨さを伝え、二度と同じ過ちを繰り返さないための誓いの象徴である「負の遺産」として、1996年に世界遺産に登録されました。
問3	答え 3 国際連盟からの脱退を通告し、国際的な孤立を深めた	国際連盟総会において、対日勧告案が42対1（反対は日本のみ）で可決されたことを受け、日本はこれを不服として国際連盟を脱退しました。この行動により、日本は国際社会での孤立を深め、後の戦争へと進むこととなります。
問4	答え 1 ワシントン会議に参加し、太平洋地域の現状維持を定めた四力国条約を締結したが、第二次世界大戦末期のヤルタ会談には参加していない。	日本は1921年からのワシントン会議に参加し、四力国条約を締結するなど、当初は国際協調の姿勢を示していました。しかし、満州事変以降に国際社会での孤立を深め、1933年に国際連盟を脱退しました。ヤルタ会談は第二次世界大戦の終結に向けてアメリカ・イギリス・ソ連の首脳が行った会議であり、日本は参加していません。
問5	答え 1 ポーランド	1939年9月1日のドイツによるポーランド侵攻は、第二次世界大戦の直接的な引き金となった出来事です。それ以前のドイツによるオーストリア併合やチェコスロバキアの解体に対して、イギリスやフランスは大規模な戦争を避けるための譲歩を行っていましたが、ポーランドへの侵攻を機に対決姿勢を明確にし、宣戦布告に至りました。
問6	答え 1 植民地を多く持たないドイツやイタリア、日本などが経済的に窮地に立たされ、武力による対外進出を強める原因となった。	ブロック経済は、イギリスやフランスのような「持てる国」による自国圏内の保護政策でした。これに対し、資源や市場となる植民地を十分に持たない「持たざる国」であるドイツ、イタリア、日本などは、経済的な封じ込めに対抗するために軍事的な拡大路線やファシズムへの傾斜を強めることになりました。これが国際連盟からの脱退や、第二次世界大戦への道筋を形作ることになりました。
問7	答え 1 北京郊外での軍事衝突を機に、宣戦布告のないまま全面的な日中戦争へと発展した。	当時の日本は軍事費を増大させながら大陸への勢力拡大を推し進めていました。盧溝橋事件による衝突は、正式な宣戦布告がなされないまま、日本と中国との間の全面的な戦争（日中戦争）へとつながりました。選択肢にある柳条湖事件（1931年）や第一次世界大戦時の要求（1915年）、日露戦争（1904年）など、他の対外紛争との時期的な違いを把握することが重要です。
問8	答え 1 パブロ・ピカソ	スペイン出身の画家パブロ・ピカソは、母国での内戦中に起きたゲルニカ爆撃のニュースに衝撃を受け、1937年のパリ万国博覧会のためにこの作品を制作しました。モノトーンの色調で描かれた、苦しみ悶える人や動物の姿は、戦争の悲惨さと非道さを伝える世界的な象徴となっています。
問9	答え 1 南満州鉄道株式会社	日露戦争の結果として1905年に結ばれたポーツマス条約により、日本はロシアが持っていた満州南部の鉄道利権、沿線の炭鉱経営権などを獲得しました。これらを経営するために設立されたのが南満州鉄道株式会社（満鉄）です。同社は鉄道事業だけでなく、製鉄所や炭鉱の運営、沿線地域の都市開発なども手がける巨大な半官半民の会社として、日本の満州進出の拠点となりました。
問10	答え 1 治安維持法	治安維持法は、普通選挙法と同時に制定された法律で、天皇制を否定する運動や私有財産を否定する社会主義・共産主義の結社を取り締まることを目的としていました。昭和初期の軍国主義化の過程では、この法律が拡大解釈され、政府の政策に反対する宗教団体や自由主義的な学者なども弾圧の対象となり、軍部による支配を支える思想統制の道具となりました。
問11	答え 1 国際連盟の脱退を宣言する → 北京郊外の盧溝橋で日中両軍が衝突する → ハワイの真珠湾を攻撃する	日本は1931年の満州事変に対する国際社会の批判を背景に、1933年に国際連盟の脱退を宣言して国際的に孤立を深めました。その後、1937年に北京郊外の盧溝橋での武力衝突（盧溝橋事件）をきっかけに日中戦争が始まり、戦火が拡大しました。さらに1941年、資源を求めて南方へ進出する中でアメリカとの対立が決定的となり、ハワイの真珠湾を攻撃したことで太平洋戦争へと突入しました。
問12	答え 1 北京郊外で日本軍と中国軍が衝突したことを機に、日本は中国との全面的な戦争へと突き進んだ。	盧溝橋事件の後、現地での停戦交渉も行われましたが、日本側は軍隊を増派し、戦線は北京・天津方面から上海などの南部にまで拡大していきました。これにより、宣戦布告のないまま長期にわたる日中戦争へと突入することになりました。
問13	答え 1 日独伊三国同盟の締結に合わせ、強力なリーダーシップで戦争を遂行するための挙国一致体制を目指して結成された。	1930年代後半からの戦時体制の強化に伴い、軍部や政府は議会での政争を避け、国民を一丸となって戦争に協力させる必要がありました。そこで、近衛文麿による「新体制運動」のもと、既存の政党をすべて解散させ、一つの巨大な公的組織に統合したのが大政翼賛会です。これによって日本の政党政治は一時的に姿を消すこととなりました。